

## 平成 29 年度第 2 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録

日 時：平成 29 年 9 月 14 日（木）17 時 00 分－ 17 時 55 分

場 所：京都大学防災研究所 連携研究棟 3F 大セミナー室（301）

出席者（敬称略）

河島、大石（議長）、橋本学、木戸（代理：遠田）、山下、齊藤、戸田、小林、山本、岩田、

小野（代理：河野）、多々納、橋本武志、佐々、三隅、辰己、大西

オブザーバー（敬称略）： 中川（所長）、澁谷、臼田（代理：三浦）

（事務局）：小西、平田

配付資料

資料 1 京都大学防災研究所自然災害研究協議会出席者名簿

資料 2 平成 29 年度第 1 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）

資料 3 本部および地区部会の活動報告（中間）

資料 4 特別研究促進費

「平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害に関する総合的研究」の研究計画概要

- ・協議会開催にあたり、京都大学防災研究所長・中川教授より挨拶がなされ、平成 29 年 7 月 25 日付で公表された防災研究所における不正経理についての報告があった。その関連で、今後、防災研究所の財源を利用し宿泊を要した出張については、宿泊先の記載が必要となったため、ご協力をお願いしたいとの依頼があった。
- ・岩田委員より、出席委員（代理）の確認がなされ、代理出席者等の紹介があった。

議 事：

### 1. 前回議事録の確認（資料 2）

岩田委員より、議事録（案）の説明があり了承された。

### 2. 平成 29 年度これまでの活動報告および今後の活動計画について（資料 3）

資料に基づいて、本部および各地区部会より本年度における、これまでの活動報告および今後の活動計画について説明がなされ了承された。

○本 部： 第 54 回自然災害科学総合シンポジウムの開催（平成 29 年 9 月 14 日（木）  
京都大学宇治キャンパス内化学研究所共同研究棟大セミナー室）。

河川災害シンポジウム（平成30年3月5日（月）岡山大学にて開催予定）。

突発災害調査の実施（特別研究促進費）は「那須雪崩災害2017年3月27日に栃木県那須町で発生した雪崩災害に関する調査研究」、「平成29年7月九州北部豪雨災害に関する総合的研究」の2件で、「那須雪崩災害」については、第54回自然災害科学総合シンポジウムにて中間報告が行われた。

国際展開調査（世界防災研究所連合（GADRI）との連携）について、国際連携担当の多々納委員より以下の通りの報告があった。

- ・3月に第3回世界防災研究所サミットと第1回世界防災研究所連合総会とを実施。その概要を含め、防災研究所ニュースレターNo.85に掲載している。
- ・おかげさまで、現在GADRI参画機関は130を数えるまでになった。
- ・5月22-26日国連主催のGlobal Platform Meeting（メキシコ、カンクン）に参加し、GADRIの活動の宣伝などを実施。
- ・7月 Natural Hazard Workshopに参加し、セッションを開催。北米防災研究所連合が立ち上げに向けた議論がなされた。
- ・今年度は、以下のように防災関係の行事が続く。
  - ①11/21-22 GADRI 理事会&Book シリーズ編集総括会議（@東京）
  - ②11/23-25 防災レジリエンス会議（学術会議主催@東京、詳細未定）
  - ③11/25-28 世界防災フォーラム（@仙台、GADRIセッションの開催）
- ・英国、北米、アフリカと、地域別連合も続々と設立されつつある。日本に関しては、自然災害研究協議会を日本のアライアンスとして位置づけただけでないか、次回の会議でご提案したい。

SAIGAI データベースの改革方針案について、データベース担当の大西委員より説明があった。現在のSAIGAI データベースは、タイトルと著者等の情報しか登録されていないために、検索エンジンで関連する文献を探し出すことが難しい。現在保管している文献を有効活用するためには、文献の電子アーカイブ化を行った上で、高性能な検索エンジンを活用する必要があるが、その管理には、相当の時間と費用を要するため、自然災害研究協議会あるいは防災研究所が幹事となって実施するのは難しい。

今後は、すでに大規模に進めている外部機関が提供する既存のサービスを利用する方が効率的であり、「アウトソースできるものは外へ、できないもののみ内部へ」という大方針で戦略を検討していきたい。具体的には、まだコミットしているわけで

はないが、1つの提案として、国会図書館がデジタルアーカイブ化事業を進めており、国会図書館のデジタルコレクションに所蔵可能かどうか、その条件等を知るために京阪奈学研都市にある関西館とコンタクトを取る方向で考えているとの提案があった。

山本委員より、国会図書館は、著作権が切れたものしかデジタルアーカイブ化はしないため、著作権をあるものについては、持っているところが作成して送るということになると思うとの意見があった。著作権等について調査した上で、大方針としての「アウトソースできるものは外へ、できないもののみ内部へ」という提案のとおりに進めていくことで了承された。

人材DBの充実については、総務担当の岩田委員より、前回の協議会において、「人材データベースをアップデートするのではなく、メーリングリストを組織的に活用するなどの方向で議論する」とのことであったので、私案として、現存のデータベースの内容を確認し、そのメールアドレスが有効か確認したのちに、メーリングリスト化を行い、運用することを試みたいとの提案があり、了承された。

○北海道地区： 北海道地区第1回幹事会の実施（平成29年8月29日（火））。地区フォーラム企画。資料センター報告の論文等募集中。北海道地区自然災害関係研究者ネットワークの更新（9月完了予定）。HPを全面更新し11月の公開に向け作業中。若手研究会については、予算の関係上中止し、HP更新のための費用に振り分けた。

○東北地区： 日本安全教育学会研究集会石巻ミーティング2017に対する名義後援実施（平成29年5月12日（金）～14日（日））。東北地域災害科学研究集会および東北地区部会総会（八戸ポータルミュージアム hacchi にて平成30年1月6日（土）～7日（日）開催予定）。研究論文集第54巻の発刊（平成30年3月末予定）。HPの管理運営、メーリングリストの管理運営、東北地区自然災害資料センターの管理運営、シンポジウム等の共催・後援については、継続中。

第37回日本自然災害学会学術講演会およびオープン・フォーラム（仙台市中小企業活性化センターにて平成30年10月6日（土）～8日（月・祝））開催で企画・調整中。

○関東地区： 彩の国市民科学オープンフォーラム（ラフレさいたまにて平成29年10月7日（土）開催予定）。これまで平日開催であったが、若い人が参加し易いように今回

より開催を土曜日とした。

- 中部地区： 研究成果公開シンポジウムの開催（平成 29 年 6 月 10 日（土）三重大学）。げんさい楽座（拡張版）の開催（未定）。名古屋大学・愛知県防災啓発活動の実施（平成 29 年 9 月～11 月・名古屋大学減災館にて主に配布予定）。自然災害科学中部地区研究集会（平成 30 年 3 月 3 日（土）開催予定）。東海圏減災研究コンソーシアム成果発表会（豊橋市内にて平成 30 年 3 月 24 日（土）開催予定）。HP の運営管理。水防災セミナーの開催。SAIGAI データベースの更新。
- 近畿地区： 防災関連研究集会の共催「都市安全研究センター オープンゼミナール」（神戸市役所にて平成 29 年 12 月 9 日（土）開催予定）。「ワークショップ 地震の予知の実際と不確かさ、防災・暮らしにどう活かす、～市民と科学者の対話から～」(京都市リサーチパークにて平成 30 年 3 月 10 日（土）開催予定)。活動経費修正として、HP 作成のため、共催研究集会経費を削減し流用することにした。
- 中国地区： 部会 HP の管理・充実。部会研究発表会（平成 30 年 3 月 17 日（土）実施予定）。研究論文集（第 4 号）の発行（平成 30 年 3 月 17 日（土）予定）。地域の防災関係機関との連携。山口大学地域防災ユニット開催の「防災土養成講座」（平成 29 年 9 月 9 日（土）～10 日（日））の後援。文部科学省の「地域防災対策支援研究プロジェクト」との連携。
- 四国地区： 突発災害調査。徳島大学 2017 年九州北部豪雨災害調査報告会（徳島大学工業会館メモリアルホールにて平成 29 年 10 月 23 日（月）開催予定）。自然災害フォーラム&南海地震研究シンポジウムの共催（サンポートホール高松にて平成 30 年 1 月 17 日（水）開催予定）。四国災害アーカイブの充実。地区部会（平成 30 年 3 月開催予定）。
- 西部地区： 地区研究発表会の開催（平成 30 年 2 月 2 日（金）予定）。地区部会報第 42 号の発行。地区部会名簿の更新。関連活動として平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害報告会（速報）実施（九州大学伊都キャンパスにて平成 29 年 9 月 13 日（水））および【資料 4】により「平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害に関する総合的研究」の概略の説明があった。

### 3. 今後の予定（第3回自然災害研究協議会開催について）

岩田委員より、次回、第3回協議会について、2案の開催候補日時の提案があり、3月16日（金）14:00開始で了承された。

### 4. その他

特になし。

#### 報告事項：

- ・岩田委員より、一度のみメールでご連絡した、協議会でサポートを行っている災害調査について、今のところ、ご希望がない。100万円ほど予算があるが、費目からすると共同研究の枠組みでの突発災害調査（事後対応含む）の海外出張も可能であるので、ご検討いただきたいとの願いがあった。
- ・岩田委員より、来年度の共同研究・共同研究拠点での一般共同研究や地域防災実践型共同研究（特定）の提案について、各地区部会の委員の先生方にご相談をするので、ご協力をお願いしたいとの依頼があった。
- ・岩田委員より、宿泊を要する出張については、今後、宿泊先について事務方からお尋ねするので、事前に決まっていれば事前に、あるいは事後でも構わないのでご連絡いただくようお願いがあった。

#### 配付冊子等：

- ・京都大学防災研究所要覧 2017-2018
- ・DPRI Newsletter No.84
- ・DPRI Newsletter No.85